

大河原町

議会だより

第129号 平成25年11月1日



平成24年度決算状況	②③
決算委員会・議案審議	④⑤
町政への提言	⑥
議決責任の明確化	⑮
常任委員会調査	⑰
その後どうなったあの提言	⑰

もがり祭へ 今年も大収穫
(大河原南小学校)

3.5%減の130億円

72億6,454万円

一般会計

第4回定例会は、9月4日から18日までの15日間の会期で開かれた。

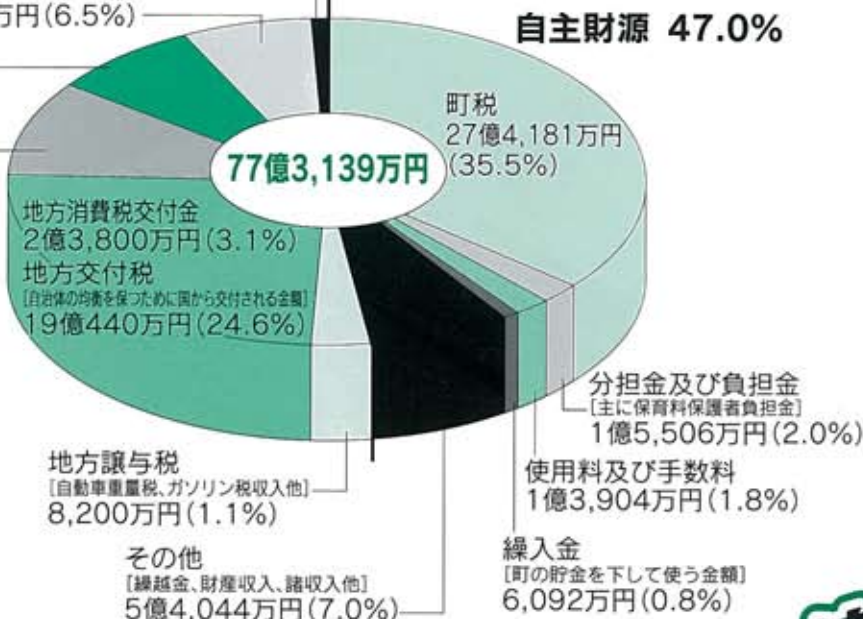
今定例会では、平成24年度各種会計決算の認定の他24件の提案を慎重に審査し、すべて認定、可決している。

一般質問では、8議員、総括質疑では1議員が発言し、疑問点を問いただしている。

依存財源 53.0%

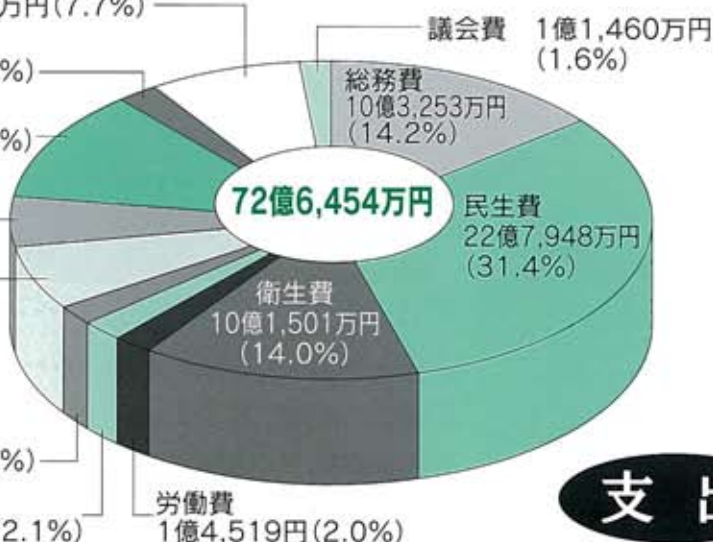
- その他 6,419万円(0.8%)
- 借入金(町債) 5億390万円(6.5%)
- 県支出金 5億7,846万円(7.5%)
- 国庫支出金 7億2,320万円(9.3%)

自主財源 47.0%



収入

- 公債費 5億6,012万円(7.7%)
- 災害復旧費 1億5,608万円(2.1%)
- 教育費 8億1,702万円(11.3%)
- 消防費 3億6,934万円(5.1%)
- 土木費 4億7,100万円(6.5%)
- 商工費 1億4,842万円(2.0%)
- 農林水産費 1億5,256万円(2.1%)



支出

町民一人あたり31万円使われました

決算規模は前年度比

一般会計

前年度比
11.3%減の

▲実りの秋

財政状況は健全化 確実に前進

財政健全化判断比率の状況

(単位:%)

区 分	平成24年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.00	20.00
連結実質赤字比率	—	20.00	40.00
実質公債費比率	3.8	25.0	35.0
将来負担比率	18.5	350.0	

赤字比率等は大河原町は該当しない(赤字なし)
 実質公債費比率とは町の財政規模に対する公債費の割合
 将来負担比率とは町の財政規模に対する将来負担すべき負債の割合
 早期健全化基準を超えると財政運営に余裕がないと判断される

7会計歳出決算額

会 計 名	決 算 額	前年度比較
一 般 会 計	72億6,454万円	△11.3%
後期高齢者医療特別会計	2億2,412万円	9.7%
国民健康保険特別会計	21億9,833万円	4.0%
介護保険特別会計	11億7,435万円	7.6%
地方卸売市場事業特別会計	296万円	△69.4%
公共下水道事業特別会計	13億3,911万円	21.7%
水道事業会計	7億7,560万円	5.8%
合 計	129億7,901万円	△ 3.5%

決算審査特別委員会審議

採決の結果原案通り認定

問 年少扶養控除が廃止され、個人町民税が増えている。増収額はどの位か。

答 影響額は3000万円の増収となった。

問 テマンドタクシーの当初一日あたりの利用者見込みと運行実績は。

答 一日90人の見込みに対し、実績は平均77・7人。始まったばかりでもあり、今後推移を見守りながら利用者の増加に努力する。

問 生きがい活動支援通所・軽度生活援助・緊急通報システム等、利用者が減っている状況はどうか。

答 利用促進を図っているが、高齢者の方々それぞれに事情もある。いろいろな機会でもPRをしていきたい。

問 有害鳥獣対策協議会負担金にイノシシ対策は含まれているのか。また状況はどうか。

答 含まれている。24年度は11頭、今年度は既に22頭捕獲している。

問 側溝清掃に委託料が発生しているのは何故か。

答 稗田前地区の生活雑排水処理に関わるもので、汚泥を上げるものではない。

問 教育費寄付金150万円は各学校の図書購入費に充てたというが、この結果、各学校の図書の充足率はどうか。

答 充足率は大小103・6%、南小111・7%、金

小81・1%、大中82・7%、金中94・3%となった。

問 体育施設管理の運営を民間に委託しているが、一部の職員の対応に不満の声がある。公共施設である以上、民間委託になっても職員指導は町が責任を持ってすべきではないか。

答 町にも町民から苦情が届いている。今後十分職員を指導していく。

問 農地等でこれから将来にわたっての受益者負担金はどれ位残っているのか。

答 猶予中の負担金は、宅地化前の農地307筆、面積16万9千㎡、金額5071万円程になっている。



▲金小バリアフリー対策(エレベーター設置)

総括質疑

万波 孝子 議員

問 滞納処分として給与差押5件、預金差押11件を執行しているが、滞納者とのトラブルは起きなかったか。預金差押に児童手当や子ども手当も含まれているのか。

答 特にトラブルは起きていない。児童手当等を差し押さえた実績はない。

問 国民健康保険の基金残高は1億6400万円で健全な方向にあると思う。国保税が高すぎて払いたくても払えないとの声がある。引き下げは検討したのか。

答 近年の医療費から試算すると27年度末での基金残高は、約5700万円とみている。引き下げの検討はしていない。

〔反対討論〕

万波 孝子 議員

一般会計 不動保育所の民間への移行。学校給食広域化の推進。国の年少扶養控除廃止で住民税は高くなり、児童扶養手当や年金も削減された。国民健康保険の広域化の動きも表面化した。こうした国の方針は町や町民いじめで許せない。

介護保険会計 月額保険料が引き上げられ、滞納額は増大した。物価は上昇、年金は削減で暮らしは大変。引き上げ策は認められない。

〔賛成討論〕

堀江 一男 議員

一般会計 経常収支比率・義務的経費等で若干伸びてはいるものの、健全な運営をされたものと評価する。町の行政執行に国の施策を持ち込むべきではない。国に対しては今後とも町民の為に要望を続けて欲しい。介護保険会計 町として精一杯の事業を展開している。介護保険は需要と供給の中で運営されるべきであり、住民に十分なサービスを提供するとともに、保険料のより適切な徴収を望む。

〔仮称〕世代交流プラザ建設工事に着手 公金横領事件による損害賠償額を決定

第3回定例会(8月会議)

〔仮称〕世代交流プラザ

工事請負契約の締結

〔工事内容〕 鉄骨造平屋建、
延床面積1311㎡。建築
・機械・電気及び外構工事
〔契約金額〕 4億268万円

問 下請けも含め地元発注
ということ徹底されている
のか。また、4月のオー
プンには間に合うのか。

答 当然地元に対する配慮
を要請する。十分に調整し、
遺漏のないよう進めていく。

問 太陽光発電設備はどう
なっているのか。

答 別枠補助の関係から別
発注の形となる。

(全員賛成で可決)

(仮称)大河原町世代交流プラザ
基本設計図



第4回定例会

(議案第38号〜47号)

損害賠償額の

決定及び和解

(公金横領事件に係る納税
者からの過納金の返済)

問 町としての責任、町民
に対しての謝罪はどうなっ
ているのか。

答 町広報誌、HPでのお
詫び、賠償額については基
本承諾をもらっている。

問 関係者からの弁済計画
はあるのか。

答 本人への請求のみであ
り、家族も含めての計画は
ない。

(反対討論)

大沼 忠弘 議員

今回の不祥事は町のチェ
ック機能の不備に端を発し
ております。議会は町の提
案を冷静に判断しなくては
なりません。少なくとも弁
済計画を明示した上で改め
て和解に関する議案を上げ
るべきである。

〔賛成討論〕

安藤 征夫 議員

この過納金は納税者に速
やかに返済されるべき賠償
金であることは間違いない。
和解を通じ町行政に対する
一刻も早い信頼を回復する
ためにも、本議案は可決さ
れなければならないもの。

万波 孝子 議員

横領額1061万500
円全額が返済されている状
況ではないが、過納金(10
名分)は町の責任において
返済するのは当然である。
今後、再発防止のために今
回の事件を真摯に受け止め
て業務にあたってほしい。

岡崎 隆 議員

今後の返済計画等は議会
の調査特別委員会等としつ
かりチェックしていく。私
も議決責任の中で責任ある
立場で進めていきたい。当
然、町民を救済するための
本議案は可決されるべき。
(賛成多数により可決)

一般会計主な補正予算

収入

町税(町民税・固定資産税)

4800万円

地方交付税

822万円

防災情報通信設備整備事業交付金

2300万円

保育士等処遇改善臨時特別
事業費補助金

740万円

スクールソーシャルワーカー
活用事業委託金

173万円

財政調整基金繰入金

355万円

弁償金

1087万円

臨時財政対策債

△4470万円

支出

損害賠償金・補填金

1087万円

子ども子育て支援事業計画策定委託料

273万円

保育士等処遇改善臨時特別
事業費補助金

695万円

公共下水道事業特別会計繰出金

5807万円

全国同時警報システム整備工事

2520万円

スクールソーシャルワーカー
活用事業

173万円

金ヶ瀬中学校校体育館
耐震診断委託料

130万円

一般質問

町政への提言
Q & A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどをただすもの。今回8人の議員が行った。

高橋芳男 議員 P⑦

- 防災総合ガイドブックの全戸配布を
- 子ども医療費の拡充を

堀江一男 議員 P⑧

- 自転車事故での賠償責任の認識向上を図るべき

須藤 慎 議員 P⑨

- 二本松集会所西側町有地に広場の整備を
- 大河原町体育施設の更なる利便性向上を

岡崎 隆 議員 P⑩

- 中学校部活動の今後は

大沼忠弘 議員 P⑪

- 大河原町の観光への取り組み強化を
- スポーツによる健康づくりの充実を

柘 和也 議員 P⑫

- 老朽化した消防水利の改修を急げ

佐藤貴久 議員 P⑬

- リサイクルステーションの進捗状況は

万波孝子 議員 P⑭

- 福島原発汚染水流出問題を町長はどう考える
- 独り暮らし等高齢者の見守り対策を急げ
- 学校給食センターの建て替え時には直営を
- 就学援助制度の見直しを(掲載外)





たか はし よし お
高橋芳男 議員

一般質問

問 防災総合ガイドブックの 全戸配布を

答 来年度に配布を予定している

東日本大震災から2年5カ月を経過し、防災・減災の両面から着実に災害に強い町づくりを図っていく必要がある。防災のソフト面の対策は「逃げる」ための備えであることから、防災教育が求められる。避難所となる所は昼夜にわたり足



▲太陽光による避難誘導灯

を運ぶため誘導性も考慮し、自力で避難できない方や寝たきりの方については、整備された施設への避難も配慮することも必要不可欠の減災対策を尋ねる。

高橋 防災総合ガイドブック全戸配布の考えはあるか。

町長 自然災害等に備えた総合的な「防災ガイドブック」を、来年度に全戸配布する予定である。

高橋 ソーラー式避難所誘導看板設置の考えはあるか。

町長 省エネ効果もあり、順次、蓄光式看板に取り換えていく。

高橋 福祉避難所協定締結推進の考えを問う。

子ども医療費の拡充を

町長 子どもたちの生命を守り、健やかに成長することを広く保障していく上で、欠くことのできない子ども医療費の助成・自己負担の軽減を思い切つて実施して欲しいと多くの町民からご意見を頂いている。そこで、子どもたちの健全育成と定住化促進にも繋がる施策として、中学校3年生終了ま

で入院・通院の無料化を実施してはどうか。

町長 中学校3年生までの外来医療費無料化については、医療費の動向や財政的な裏付け等を検討し、今後実施の時期や内容について判断していく。

町長 高齢者や障害者等の災害時要援護者の避難所確保を図るためにも、関係機関と協議を進め、速やかな協定の締結に向けて取り組んでいく。

どこまでも
一人のために
みんなのために

ちょっと
ひとこと

問 自転車事故での賠償責任の 認識向上を図るべき

答 町民に保険加入の重要性を促していく



ほりえ かつお 議員
堀江一男

堀江 先日、神戸地裁において当時小学6年生だった少年の母親に「自転車事故で9500万円の賠償命令」の判決が下されたが、行政側としてどのように受け止めているのか。

町長 自転車とはいえ一旦事故を起こせば被害者・加害者双方に大変不幸な結果を招くので、自転車の安全利用の啓発、更には保険加入への呼びかけの重要性を改めて認識した。

堀江 児童生徒の安全のため、ヘルメット着用はどの程度浸透しているのか。

一般質問

教育長 各学校では、乗車する際は必ずヘルメットを着用することを指導している。職員

の巡回指導・保護者・地域の方々からの情報を基に、自転車のマナー全般について指導した結果、ヘルメットの着用率については大河原中学校を除きほぼ100%に近いと言える。

堀江 末広橋歩道橋等狭い場所ですべて自転車に乗って通学している姿を見か

けるが、危険が予想される通学路の一部を、自転車を降りて歩く区間とする考えはないか。

町長 現在、末広橋歩道橋は自転車歩行者専用の道路として、自転車に乗車して通行することは可能となっ

ている。歩行者の安全性の確保の観点からすれば、自転車乗車での通行禁止は有効と思われるが、一律に規制をすれば不便を感じてしまう懸念もあるので、歩行者優先というPRと安全確保のための注意看板を設置するなどに対応し、規制については今後の課題とさせていただきますと考えている。



▲中部幹線の自転車専用通行帯(自転車レーン)

自転車にも
保険の加入を

ちょっと
ひとこと



須藤 慎 議員

問 二本松集会所西側 町有地に広場の整備を

答 地域の方々と相談しながら検討していく



▲二本松集会所に隣接している町有地

須藤 南原前区には長年公園や広場等の機能をもつ場所が全くない状況にある。

二本松集会所西側には約960㎡の町有地があるが、公園として整備するには都市公園条例で0.25haが必要で難しいようであるが、児童遊園や広場として整備してはどうか。

町長 都市公園でもなく児童遊園でもなく第三の道としてどのようなことが可能なか、地域の方々と相談しながら検討していく。また地域の子どもたちやボランティアの方々に花壇を作る等、協働のまちづくりのモデル的なものにするというようなことも検討材料とし、何とか要望に添えるよう検討していく。

大河原町体育施設の 更なる利便性向上を

須藤 祝日が月曜日の場合総合体育館が使えない現状にあるが、休館日の見直しが必要ではないか。

教育長 前向きに検討する。

須藤 多目的広場・テニスコート等取り消し料返還手続きの期限を、10日前ではなく7日前に変更すべきと考えるがどうか。

教育長 今後検討していく。

須藤 現時点でテニスコートの不備等支障がないか尋ねる。また簡易な観客席の設置を望むがどうか。

教育長 大きな支障はないと理解している。また観客席の設置は難しいと考える。

須藤 南小学校校庭は除染後水はけが悪くなったが、改善策を聞きたい。

教育長 改めて現状を確認し、有効な改善方法があるか検討したい。

須藤 総合体育館・東部運動場に非常用発電機等災害に対応できる最低限の備品が必要と考えるがどうか。

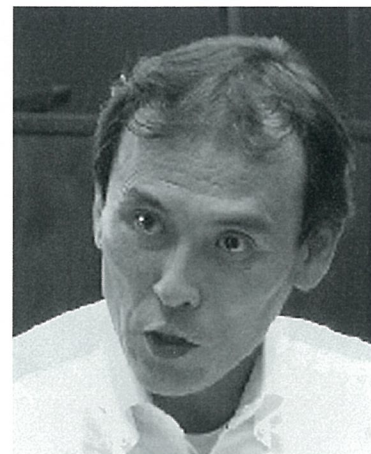
教育長 本年度見直しを行う大河原町地域防災計画の中で防災備品等の配備を行う予定である。

地域の声や要望に
何とか応えよう

ちょっと
ひとこと

問 中学校部活動の今後は

答 郡中体連事務局と協議し検討する



おかざき たかし
岡崎 隆 議員



一般質問

大河原町には二つの中学校があるが、生徒数、立地において偏在している。学区の再編を視野に入れた取り組みは当然必要であるが、予算と時間がかかる。特に部活動の現場において金中の生徒たちの不公平感が募っている。大河原中学校は部活動数が22、金ヶ瀬中学校は6である。小学校の頃から慣れ親しんだスポーツ、文化に中学校になると励むことができない生徒が、金ヶ瀬学区には多く存在してきた。人生の中で心身ともに大きな成長を遂げる中学校生活の中で運動に汗を流し、芸術に親しむことは非常に重要であり、生涯の宝

となる。少子化の進む中、大中、金中の部活動での融合を目指した持続可能な取り組みが早急に必要である。

岡崎 現在、教育長の許可を得て部活動を優先して大中に入学した生徒数は。

教育長 各学年に1〜2名いる。

岡崎 校風や教育方針ではなく公的機関において部活動の充実度で進むべき学校を選択している現状は本末転倒であると考えるがどうか。

教育長 由々しきことと認識している。今後の取り組み

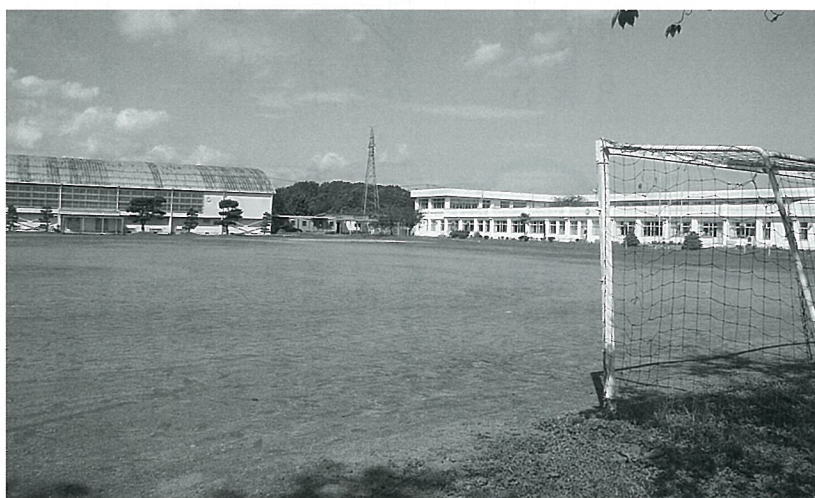
みは考えていかなければならない。

岡崎 少子化の進む中、「宮城県中学校体育連盟複数校合同チーム参加規定」にのっとり認められている団体競技について合同チームとして参加できるようにしておくことが金中の生徒減少を防ぎ、部活動の種目選択の幅を広げる改善を町が現場の理解、協力を得て早急に進めるべき。

教育長 金中では特に単独での参加が難しい競技の一部は柴田郡中体連事務局と協議し大中との合同チームでの参加を検討する。

金中の生徒に
部活動の選択肢を
広げて

ちょっと
ひとこと



▲金ヶ瀬中学校グラウンド



おお ぬま ただ ひろ
大沼忠弘 議員

問 大河原町の観光への 取組み強化を

答 おもてなしの仕組みづくりを検討

大沼 他の自治体でも観光ボランティアガイド組織を設立して観光に取り組んで



▲景観にも配慮したおもてなしを

いる事例があるが取り組む考えはあるか。

町長 現在は、大河原町鉄道OB会、文化財友の会、さくらの会の3団体からご協力をいただき、駅前案内所を設置している。正式なガイド組織となると多くの課題もあるかと思えますので、今後は他の団体や地域住民へもお声がけし、ご満足いただけるようなおもてなしを検討していく。

大沼 近隣にもフィルムコミッションがあり、積極的に映画やテレビ等の撮影の誘致やプロモーションを行っている。協力あるいは独

自の設立によって広く当町の地域活性化、文化振興、観光振興を図る考えはあるか。

町長 せんだい・宮城フィルムコミッションにおいて「白石川一目千本桜」がロケ地として登録されている。

スポーツによる健康づくりの充実を

大沼 総合体育館のウエイトトレーニングマシンの入れ替えの考えはないのか。

教育長 財政的な問題もあり、使用できるものは使用しながら、今後リース等も考慮して検討する。

大沼 仙台大学との連携協定に基づき行われたことは何か。

今後は桜のほかの景勝地や撮影ポイントを探す努力を重ねながら、県内のフィルムコミッションに積極的にアピールするとともに連携の強化を図る。

教育長 仙台大学の橋本教授から熱中症予防と怪我の治療について、講義をいただいた。また、ウォーキングマップの活用について指導をもらうことを検討している。

一般質問

取り組みの強化で
まちもひと
も元気に
ちょっと
ひとこと

問 老朽化した消防水利の改修を急げ

答 総合的に早期の改修設置の検討に入る



ます 和也 議員

一般質問

当町の生命・財産を守るうえで非常に大切な消防水利（防火水槽・消火栓等）の現状を見ると、防火水槽蓋無（オープンなもの）29カ所、蓋有（コンクリート製地下式）43カ所の合計72カ所、その他の水利（ブール等）6カ所、消火栓が373カ所となっている。保料前の防火水槽などは、古く、昭和29年に設置されており、以下今後の消防水利の計画及び維持管理について考えを問う。

柘 蓋無（オープン）の防火水槽がある地域から、どのような苦情が出ているのか。

町長 蚊等害虫の発生の苦情が来ているが、水の入れ替え、施設周りの草刈りの実施などで対応している。

柘 防火水槽は、常時40トンの貯水量が標準とされている。当町には40トンに満たない所が10カ所あるが、今後どう対処するのか。

町長 消防署・行政区長・地元消防団員と協議をしながら、新設か、消火栓への切り替えか、検討していく。



▲老朽化した金ヶ瀬小学校裏の防火水槽

柘 耐震構造になっていない防火水槽の今後の対応は。

町長 特に耐震基準は無いが、消防署等関係機関と協議をしながら検討する。

柘 金小裏にある防火水槽は、完全な修復に至っていないが、今後どうするのか。

町長 撤去することも視野に入れながら、新設や消火栓への切り替えについて検討が必要である。

柘 近くに、保育園やグールプホーム等があるので、無くすのではなく、地下に80トン級の水槽を設置して上を駐車場として利用してはどうか。

町長 そういったことも考えられるので、総合的に検討する。

いざというとき
大丈夫なの

ちょっと
ひとこと



さとう たかひさ
佐藤貴久 議員

問 リサイクルステーションの 進捗状況は

答 着実に運用実績に結びついている

佐藤 町長は定例庁議において、性善説を取り上げた。その意図は何か。



▲役場にも設置されたリサイクルステーション

町長 性善説は私の人間像であり、道徳論を町政に反映するつもりはない。

佐藤 ごみリサイクルステーションの進捗状況はどうか。古着リユースステーションを整備する考えはないか。

町長 運用実績はいい。古着リユースは前向きに協議する。

佐藤 生活保護費が適正に使われているのか、チケット機能は十分なのか。

町長 県が実施主体なので、町ではチケットが難しい。

佐藤 重点施策として、特定不妊治療費助成が、今年度より行われている。効用の高い事業となりえるのか。

町長 町民から切実に要望された事業なので、希望者が一人でも実施していく。

佐藤 住民アンケート調査が前回調査に比べて、80%の分野で0・5ポイント低下している。その要因は何か、フェイスブックを取り入れてはどうか。

町長 フェイスブックは協議する。調査結果を分析し、夢プランに反映していく。

佐藤 農林学校線道路改良工事が、25年度当初予算に計上されなかった理由は何か。

町長 今年度より、地域元

気交付金を充当し、2500万円の前算で、2カ年計画で実施していく。

佐藤 情報通信技術の活用状況はどうか。当町教員の活用指導力の実態分析結果をどう評価しているのか。

教育長 パソコンの整備率は近隣市町と比べても高い。教員の指導力アップをさらに図っていく。

★豆知識

フェイスブックとは、インターネット上の交流サイト。日本での利用者は、1000万人を超える。

利用者目線での
施策の推進と運用を
図りましょう

ちょっと
ひとこと

問 福島原発汚染水流出問題を町長はどう考える

答 収束はしていない
再稼働は認めるべきでない



▲汚染水タンクが並ぶ福島第一原子力発電所

この考えでいることを、はつきり示すべきではないか。町長 原因不明で抜本的な対策も取られていない。憤りを感じる。収束はしていない。再稼働は認めるべきでない。



まん なみ たか こ
万波孝子 議員

一般質問

8月に300トンもの汚染水流出が発覚した。一旦事故が起きれば放射性物質による汚染が、際限なく広がる危険性があることを改めて示した。事態は深刻だ。

万波 政府は収束宣言の撤回と再稼働・輸出は直ちに止め、全原発廃炉の決断をすべきと考えるが、町長の見解は。放射能汚染から住民を守る立場にある町長も、

独り暮らし等高齢者の見守り対策を急げ

万波 独り暮らし等の高齢者を守るには地域で支えあい、助けあい、声かけ等、地域力をいかに高めるかである。みやぎ生協、新聞販売店、郵便局との見守り協定について尋ねる。

町長 生協以外はこれから。

万波 孤独死ゼロ作戦で成果をあげている松戸市自治

会の実践を聞く講演会の日程はどうなっているのか。

町長 今後、開催時期等について検討する。

万波 いざの時に役立つ緊急通報システム拡充の考えはあるか。

町長 周知も含め検討する。

学校給食センターの建替え時には直営を

万波 三町共同学校給食センターは破たんした。現在の給食センターの現状と今後のあるべき姿について。食材の利用割合は。町内と町外、冷凍食品と外国産。

町長 町産2・4%、町外97・6%、冷凍食品20・2%、外国産7・8%である。

万波 震災時山元町等では自校式の学校給食だった為、救援拠点として大きな役割を果たした。建替え時には検討委員会を立ち上げ、自校式や直営センター方式を

検討できないか。

町長 その時はあらゆる角度から検討していきたい。

原発と人類は共存できない
原発のない社会を子どもたちに

ちょっとひとこと

《平成25年第3回定例会(7月・8月会議)・第4回定例会議案等審議結果》

議決責任の明確化

件名	議決月日	議決結果	議員別表決結果一覧															
			佐久間克明	須藤 慎	大沼 忠弘	高橋 芳男	岡崎 隆	丸山 勝利	堀江 一男	枘 和也	佐藤 貴久	庄司 充	万波 孝子	佐藤 巖	安藤 征夫	山崎 剛	秋山 昇	
平成25年度一般会計補正予算(第2号)	7/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議
工事請負契約の締結 (字住吉町地内外下水道災害復旧工事)	7/29	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議	
町長等の給与に関する条例の一部改正	7/29	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議	
平成25年度一般会計補正予算(第3号)	7/29	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議	
工事請負契約の締結(世代交流プラザ建設工事)	8/26	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
損害賠償の額の決定及び和解(議案第38号~47号)	9/11	可決	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	欠	○	×	議	
工事請負契約の締結 (大河原小学校体育館安全対策工事)	9/11	可決	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	欠	○	○	議	
総合計画の策定等に関する条例の制定	9/11	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議	
子ども・子育て会議条例の制定	9/11	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議	
平成25年度一般会計補正予算(第4号)	9/11	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議	
平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	9/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議	
平成25年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	9/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議	
平成25年度公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	9/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議	
平成25年度水道事業会計補正予算(第2号)	9/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議	
平成24年度一般会計・介護保険特別会計決算認定	9/18	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	
平成24年度後期高齢者医療・国民健康保険・地方卸売市場 事業・公共下水道特別会計決算認定、平成24年度水道事業 会計剰余金の処分及び決算認定	9/18	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
工事請負契約の締結(見城前住宅外壁等改修工事)	9/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
平成25年度一般会計補正予算(第5号)	9/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	

《表決の区分》 ○:賛成 ×:反対 退:退席、除斥 欠:欠席 議:議長なので表決に加わらず

特別委員会からの
中間報告

議会基本条例の制定に
関する調査特別委員会

町民に真摯に向き合う、町民のための議会へとより進化すべく、昨年からの住民に開かれた議会づくりに向け調査特別委員会を設置し、通年議会の実施等様々な議会改革をこれまでも進めてきた。議会基本条例の制定に向けて小委員会方式により素案を取りまとめ、計5回の小委員会で幅広く検討を重ね、現在までの協議の結果として去る9月4日に大河原町議会基本条例(案)について確認、決定に至っております。今後も引き続き調査を継続し、10月初旬より町民に向けたパブリックコメントを実施(10月7日~28日)し、再度協議・調査を重ね、12月議会への上程・審議を予定している。弛まざる議会改革にむけた取り組みを今後も行っていく。

公金横領に関する
調査特別委員会

本年6月に発覚した元徴収嘱託職員による公金横領事件の報告を受け、7月29日の本会議において当委員会を設置し、審査の付託を受けた。これまで3回の委員会が開催され、事件の全容とこれまでの町側の対応、再発防止に向けた取り組みなどの意見交換を重ねてきた。横領総額1061万500円、本税分731万円、過納金329万1500円となっており、家族等より本税分の弁済を受けたが、過納金については9月定例会で国家賠償法を適用し、一時的に町が町民への立替を行うこととなった。今後、この立替金の弁済について、また徴収の在り方等マニュアルの作成とともに綱紀粛正を図るべく調査を継続し、議会の意見が強く反映されるよう提言を続けていく。

委員会調査 町への提言



総務文教常任委員会

より安心して安全なおいしい給食の提供を

三町協同の給食センターの建設が各町で議論されている最中、自治体単独の試みではあるが、同規模で同様の方式を試みている名取市学校給食センター「いただきスマイルかん」の視察研修を7月17日におこなった。主な調査事項は



▲いただきスマイルかん(名取市学校給食センター)

③事故の想定はない。民間の食品業者と提携したダブルチェック体制を敷き一釜1000食ずつ調理しているので供給不能にはならない。
④収納率は99%前後であり担当は市の教育課である。以上が調査結果であり、施設全体で快適に作業が進められていた。また食育への取り組みにも先進的な施設であった。

- ①アレルギーへの対応
- ②地産地消の状況
- ③事故への対応
- ④給食費の収納・滞納状況であった。

調査結果は

- ①一日7300食供給する中でアレルギー対応として70食の提供が可能で、除去食を用いることで対応している。
- ②米飯・笹かま・他数種のセリなどの野菜を市内産で賄っている。

産業建設常任委員会

利用者目線での整備と維持管理

7月10日、役場庁舎内委員会室において担当の地域整備課職員より町内全域の公園・緑地・児童遊園の整備と維持管理の状況について説明を受け、その後町内3カ所の公園の現地調査をおこなった。

調査結果は

- ①大河原公園は、使用不能箇所もあるが意匠権が存在するので拡大解釈しながら課題解決に取り組むべきである。
- ②各園内設置のトイレットペーパーは細やかに補充すべきである。公園管理には、利用者の声を幅広く取り入れると同時に、維持管理費の配分等に課題があるので、まず利用状況を把握するべきである。
- ③整備においてベンチ等、老朽化したものについても順次、樹脂、アルミ製の耐久性の優れたものに移行すべきである。



▲点検・修繕・改修(南桜公園)

べきである。専門業者による遊具点検もおこなっているが、子どもが手をはさむ等の可能性が考えられる場合、修繕、改修の必要力所について速やかに対応すべきである。
④面積、人口に対する公園数の割合は設置要件を満たしているが、安全管理に徹するべきである。

追跡レポート

その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の経過について追跡レポートを実施してみました。

特別養護老人ホーム増床



▲桜寿苑増築改修工事

(仮称)世代交流プラザ建設



▲世代交流プラザ建設工事

提言

平成22年3月

町内の特別養護老人ホーム待機者は100名を超えている。一向に減らない入所待機者解消に向けて早急に取り組むべきである。

提言

平成24年6月

旧町立病院跡地に世代間の交流ができる多機能型複合施設を整備する計画であるが、避難所、また介護予防にも繋がる健康増進機能を整備するべきではないか。

結果

平成26年4月利用開始

25年8月より増築改修工事が行われており、多床室から個室ユニット型にし、30床増床される。26年3月に完成予定。

結果

平成26年4月利用開始

提言を兼ね備えた子育て支援充実や地域の方の交流拠点として来春のオープンに向けて今現在工事が行われている。

議会報告会を開催します

15人の議員が3班に分かれて、6会場で開催します。

- 11月21日(木)《小山田生活センター・南桜集会所・西原集会所》
- 11月22日(金)《中央公民館・金ヶ瀬公民館・上谷東集会所》

※いずれも開催時間は午後6時30分から午後8時です。 **みなさんの声を聞かせてください。**

こんな町に住みたい



大河原中
佐藤 和音



大河原中
可沼あいら

私は、子どもから高齢者まで、広い世代で良い関係性を保ち、共存していくことが大切だと思います。

今の大河原町は、次々と新たな大型店等が建設され、暮らしが便利になる一方、車の通りもより多くなり、危険な場面もたまに見られます。また、近年子どもとお年寄りの方とのふれあいの場が減っていると感じます。このような交流の場は、お年寄りの方の生きがいでもあると考えています。これからはこれらの課題を皆で考え、利便性と安全性を兼ね備えた町をつくり、私たちの誇る大河原を周りと広めていきたいです。

私たちが住んでいる大河原町にはたくさんの良い所があります。私はその中の一つが挨拶だと思います。朝、登校していると見守り隊の方々や、近所の人々が笑顔で挨拶をしてくれます。最初のうちははずかしくて挨拶を返せませんでした。町民の皆さんの優しき、温かさに触れるうちにだんだんと返せるようになりました。

このように挨拶は言葉だけではなく温かい心を伝えるものでもあると思います。町民の皆さんの温かい心が大河原町全体、全国に広がって欲しいと思います。

12月議会のお知らせ 議会を傍聴しませんか
招集日 12月4日(水)・再開日 12月10日(火)
 詳細は議会事務局まで ☎53-2800

街かど ワンショット

花の無人販売所
 町かどでバラの花の無人販売所を見つけました。
 バラには色ごとの花言葉があつて、赤は「愛情・美」とされています。白は「心からの尊敬・純潔」。ピンクは「美しい少女・上品」、黄色は「ジェラシー」の花言葉です。
 プレゼントに是非一度ご利用してみてくださいはいかがでしょうか。心もハッピーになりますよ。バラにはトゲがあります。取り扱いには十分注意しましょう。

編集後記

秋は先進地への政務活動や研修の多い時期です。今後当町に必要な事業の成功例を、自分たちで見聞きし発信していく。

議会広報編集特別委員会の活動もその一つです。見やすく、分かりやすく、町民の皆様へ議会活動や方向性をお伝えして行くことはパズルと一緒です。自分が携わって形になる喜び、そ

これは町民の皆様も一緒だと思えます。
 生活して楽しい大河原町が完成するよう今後も努力してまいります。
 (佐久間克明)

編集発行責任者
 議長 秋山 昇

議会広報編集特別委員
 委員長 岡崎 隆
 副委員長 佐久間克明
 委員 万波 孝子
 高橋 芳男
 大沼 忠弘
 須藤 慎